

9 大雨・洪水・雷から身を守ろう

大雨がふったり、雷がなったりすると、どのようなきけんがあるのでしょうか。また、どのようにして身を守ればよいのでしょうか。

○大雨・洪水・雷のきけん

大雨がふると、川の水がふえてあふれたり、町にながれこんだりするなど、大きな水害がおこることがあります。これを洪水といいます。川の近くでなくても、大雨で道路に水があふれ、歩けなくなることもあります。

また、雷は強い電気です。日本では毎年、雷に当たって命を落としてしまう人がいます。

このような災害から身を守るためには、天気のようにすに気をつけたり、天気よほうを聞いたりして、早めに安全なところへ避難することが大切です。

知っておくと、早めにひなんのじゅんびができますね。



大雨で川の水があふれるまで

5～3日前

天気予報で台風ができたって言っているよ。まだ雨や風は強くないね。



1日前

雨や風が強くなると、お出かけは大変だね。



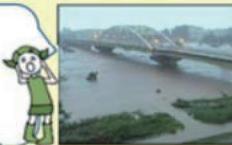
半日前

自分がいるところで降っていても、上流で雨が降れば川の水は増えてくるよ。



7時間前

このまま増えると、川の水があふれるかも。



5～3時間前

もうギリギリ。川の水があふれる前に、安全なところへ逃げなきゃ！



0時間前

川の水が一気に広がって、街じゅうが水びたし。こうなると動けないぞ。



(資料：国土交通省関東地方整備局)

〇こんなふう^{そら}に空^かのようすが変わったら

天気^{てんき}は急^{きゅう}にかかります。空^{そら}のようすが急^{きゅう}にふだんどちがってきたら、それは天気^{てんき}の^{へんか}変化^{つた}を伝えるサインです。積乱雲^{せきらんうん}が近^{ちか}づいてきているのです。



くろ くも ちか
黒い雲が近づいてきた



かみなり おと き
雷の音が聞こえてきた



つめ かぜ きゅう
冷たい風が急にふいてきた

おおあめ かみなり たつまき ちか
大雨 雷 竜巻が近づいています。

このように天気^{てんき}が急^{きゅう}にかわる時は、大雨^{おおあめ}（ゲリラごうう）や雷^{かみなり}、竜巻^{たつまき}のサインです。
このような場所^{ばしょ}にいる時は、すぐ^{とき}にじょうぶな建物^{たてももの はい}に入りましょう。



かわら



たはた
田畑、グラウンドなど



まわりよりひくい道^{みち}

たてももの はい
すぐにじょうぶな建物に入りましょう。

しりょう き しょうちようホームページ
(資料：気象庁HP)

〇急^{きゅう}に天気^{てんき}が変わりそうになったら、あなた^かはどのように^{こうどう}行動しますか。



ふりかえり

